

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター
 実施機関名： (株)日本能率協会コンサルティング

A. バックオフィス	クラウド活用入門
クラウド・IoT導入	

コースのねらい	クラウドに関する基本的な知識、サービス及び利用方法を理解し、クラウドを活用した業務展開の企画提案の知識と技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	クラウド	1. クラウドとは何か【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(研修のゴール確認、ワークショップ役割分担等) ・基本的な概念と仕組み、オンプレミスとの違い等を解説 ・クラウドの種類(パブリック、プライベート、ハイブリッド)と特徴 2. クラウド活用のメリット、デメリットとセキュリティ【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド活用のメリット、デメリット ・クラウド活用時のセキュリティ対策(アクセス管理、データ保護、等) 3. 自社でクラウドが活用できそうな業務【演習:ワークショップ】 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド活用ができそうな自社の業務洗い出し(個人) ・グループで洗い出した内容を共有、グルーピング(グループワーク) ・ディスカッション内容を全体で共有
2	クラウドサービス	4. クラウドサービスの種類【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービスの種類解説(PaaS、IaaS、SaaS、等) ・主要なクラウドサービスプロバイダーとサービス(AWS、Azure、GCP、等) ・主要なSaaSアプリケーションの紹介と機能説明(Google Workspace、MS365、等) 5. クラウドサービス選定のポイント【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・各サービスの料金体系 ・必要費用の見積もりポイント 6. 自社で利用できそうなクラウドサービス【演習:ワークショップ】 <ul style="list-style-type: none"> ・先ほど洗い出した業務へ、適用できるクラウドサービスを検討(個人ワーク) ・クラウドサービス適用にむけて、メリットとデメリットを洗い出し(グループワーク) ・全体で共有 	2.0
3	クラウドの利用	7. クラウド利用目的の整理【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用目的の整理に向け、課題の抽出と定義 ・課題解決策の作成と完了基準の設定 ・解決策の評価と優先順位の設定、実施計画の作成 8. 自社の業務課題整理とクラウド利用を評価【演習:ワークショップ】 <ul style="list-style-type: none"> ・改めて、本日洗い出したクラウド利用対象業務の課題分析(個人ワーク) ・課題と解決策としてのクラウド利用を評価(グループワーク) ・全体で共有 9. 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・研修のゴール達成状況、気づきをグループで共有 ・全体で共有 	1.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
全体として、ワークショップを充実させ、他者の考えなどから一人では思いつかないような新技術適用に向けた気づきを得る事に重点をおく【クラウド】では、講義と演習を通して、クラウドを利用できそうな自社の業務を検討する事で、クラウド活用のイメージ作りを体験【クラウドサービス】同様に、自社の業務にクラウドを利用する事を想定する事で、クラウド活用をより具体化する事を体験【クラウドの利用】では、課題と解決策の検討を通して、クラウド利用目的の重要性を疑似的に体験

講師から一言
クラウドでの生成AIサービス(チャットボット)等、最新動向についても説明して、より参加者が自社でのクラウド活用に繋がるヒントを提供します。